

知事記者会見（平成年 23 年 2 月 2 日）

●知事発表

（1）国民文化祭の開催内定について

時間：9：15～9：26

場所：県庁プレゼンテーションルーム

（幹事社）

知事の方から発表を先にいただいて、その後、質問という形でお願いします。

（知 事）

それでは、臨時にこういう会見を開かせていただきました。

案件は、平成26年度の国民文化祭の開催について内定をいただきました、ということをご報告します。この国民文化祭については本県では開催したことがありませんでした。スポーツ立県、あるいは文化立県という目標を掲げていますので、その集大成として国民文化祭に名乗りをあげて、準備もありますし、他県からの申し込み状況等を踏まえまして、平成26年度開催ということに国に対して要望をしていました。その結果、26年の開催が内定したということです。

本県は全国最多を誇る国の重要無形民俗文化財、民謡の全国大会、多彩な伝統文化、さらに若いアーティストたちが中心となった音楽とかアート、あるいは様々な民謡等と新しい分野とのコラボ等の取り組みが顕著なところなので、大変盛り上がるのではないかと思います。平成26年開催の内定を踏まえ、平成23年度においては文化を再生し創造していく元年ということで「あきた文化ルネサンス」宣言を行い、地域の文化力を高め、文化力で地域を元気にしていくという取り組みを強化していきたいと考えています。その一つの集大成として、26年度の国民文化祭の開催を希望しました。

国民文化祭は「文化の国体」とも言われていまして、昭和61年から各都道府県持ち回りで開催されています。国内最大級の文化の祭典ということが言えると思います。今後、平成26年度の開催に向けまして、来年度から基本構想の策定など具体の準備に取りかかることにしていますが、これを契機に本県の多様な文化が全国へ発信され、さらなる魅力アップが図られるとともに、人と人との交流による賑わいの創出など多様な効果を県民の元気創造につなげていけるよう、県民の皆さんや芸術文化団体の皆様方などの多くのご協力をいただきながら全力を上げて取り組んでまいりたいと思います。

（幹事社）

それでは幹事社から2点ほど。

今日、知事の発表によって大きく前向きな話として国民文化祭が開かれるということが

県民に伝わるわけですが、どういった県民の（機運の）醸成を図っていくのか。事業として、さしずめ23年度どういった形で国民文化祭に向けて事業を進められていくのかというのが1点。もう1点は、23年度、大きなつかみで、大体、文化関連事業にどれぐらいの予算を見込まれているのか。この2点お願いします。

(知 事)

まず最初のご質問ですけれども、国民文化祭の開催を国に申し入れたという段階から、どこへ行っても、概ねこれはいいことだというお話がありました。いろんな文化活動に携わっている皆さん方からは、我々も参加したい、協力したいという声も聞いています。

秋田では（指定予定の1件を含め）16件の重要無形民俗文化財があり、また、各地の祭り、様々な文芸活動のサークルの盛んなところですよ。全国に文化団体がありますけれども、人口比からしますと大変多くの方々がそういう（文化関係の）サークル活動に関わっているということもあります。

国民文化祭には既定のパターンがあります。あとはその地域ならではの特色のあるオリジナルのものがありますが、これは地域で考えてくださいということです。既定の部分については県内に様々な分野ごとに（文化）団体、協会がありまして、全国的なつながりの中でもいろいろなパターンがあると思いますが、オリジナルの部分はどう組むのかと、文化というのは非常に広い視点で捉えられますので、新しい発想を入れられるかどうか。ここら辺を今後、23年度に基本構想、幅広い文化芸術関係の関係者とか、市町村あるいは大学の方々など皆さんに検討していただくことにしています。また、幅広く文化というのは捉えるべきものですので、秋田ならではのということと、若い人たちの目を引くために、今の映像文化とIT関係との融合というのも考えられます。できるだけ幅広く、特定の人だけではなく様々な形で県民の皆さんが何らかの関わり合いが持てるようにやっていきたいと思っております。中身はこれからです。

それから23年度の予算についてですが、文化関係予算というのは幅広いものですから・・・23年度の国民文化祭の開催準備経費としては基本構想の策定と、市町村や文化団体を対象とした説明会とか意見交換、あと広報等を含めて約1,500万円ぐらいの経費を計上いたします。

(幹事社)

そうしますと1点目のことで一つ確認しますけれども、県民が何らかの形で関わられるようにということで県民総参加型と言ってもよろしいのか分かりませんが、そういった形で秋田の独自色、あるいは新しい発想を入れてということで、従来の形にとらわれなような国民文化祭の形を秋田から発信したいというような受け止め方でよろしいのでしょうか。

(知 事)

そうですね、既定の分野はルールがありますけれども、それ以外については秋田の場合は、例えばお祭りに関わっている人というのは人口の半分以上いるのではないかと思います。単に我が町のお祭りだけではなく、全体を一つにまとめ上げる、あるいはジャンルご

とにまとめ上げることによって、特別な技術・技能を持った人以外も参加できるものがたくさんあると思います。伝統的なものについては、高齢者の方々に知識も技術もありますので、高齢者の社会参加といいますか、元気づくりにもつながるのではないかと思います。

(幹事社)

ほかに各社。

(知 事)

これまでの各地で開催された内容、実績については担当課にお聞きいただきたいと思えます。

(記 者)

どうしても秋田県内ですと秋田市メインで考えられてしまうかと思うんですが、実際に会場地という意味でいくと全県下にわたるという理解でよろしいですか。それでもやはり中央志向ということになりますでしょうか。

(知 事)

ある程度期間も長い、それからジャンルも非常に幅広いわけですから、大きな人数を集められるホールなどは秋田市しかありませんので地域に限られる可能性があります。各市町村それぞれ何らかの形でいろんな分野、非常に幅広い分野ですので、むしろ都会ではなく、農村風景をバックにしてやった方が非常に趣のあるものも当然あるでしょうし、今後、各市町村に様々な説明をして情報提供しながら、大いに各市町村がそれぞれの特色を出していただいて、国体のようにいろんな形で地域で行えるようにということを考えています。

(幹事社)

各社よろしいですか。

ありがとうございました。